

## 新火葬場建設候補地（答申内容）市民説明会 開催記録

○日時 令和元年7月1日 午後7時から午後7時40分まで

○場所 清見支所大会議室

○参加人数 29名

○高山市職員

市民保険部

市民保健部長 矢嶋 弘治 火葬場建設推進室長 池之俣 浩一

火葬場建設推進室担当監 大川 誠 火葬場建設推進室職員 義基 現徳

清見支所

清見支所長 脇坂 光生 清見支所地域振興課長 室崎 多恵子

○質疑応答の概要

参加者：

特別、反対する理由はないと思うが、火葬場の整備は過去に実現しなかったことがある。仮に候補地が1つに絞られ、順調にいったとして、いつごろ完成予定か。

市職員：

市で必要な検討をし、建設地案を1カ所に絞る予定である。建設地案を市議会に諮ったうえで、今度は地元の説明会に入りたい。ただ、時期がいつになるかは未定であり、できるだけ早く、建設地案を1カ所検討し、市議会に諮りたい。

事業が進んだとして、敷地調査や設計・施工には5年ぐらいかかると考えている。

参加者：

西洞町の現在の火葬場は、新火葬場ができたらどうなるか。

市職員：

西洞町の現在の火葬場の敷地をどうするかは未定である。

参加者：

丹生川支所と高山市民文化会館で市民説明会があったが、丹生川町大萱の候補地は周辺が農地で、ハウスがたくさん建つ地域であり、反対意見はないか。

市職員：

丹生川町大萱の候補地はトマトハウスの中心地で、心配する意見や、市としての農政に対する考え方はどうなのかという意見があった。市は、丹生川町大萱の候補地に決まった場合は、地元の方と相談しながら進めたいと話した。

6月27日の丹生川支所での市民説明会では、主な利用地域の範囲や利用頻度に関する質問、排ガスの対策についての市の考えや、地下水が涸れることはないかという質問、雨水排水の計画、土砂災害は大丈夫か、火葬場を整備する場合には道路が拡張されればありがたいという意見や、候補地の評価の方法に関し、新火葬場建設検討委員会では造成に数億円といった幅がある見込みをしたので、市でしっかりコストを計算し、精査すべきとの意見があった。

6月28日の高山市民文化会館での市民説明会では、前日の丹生川支所での市民説明会でどのような意見があったか、丹生川町大萱の候補地の寄附の申し出について、申し出た方から何か条件がついていないか、地元町内会や候補地の隣地の地権者の同意がなくても進めるのかといった意見があった。寄附には何も条件はついていないこと、地元や候補地の隣地の地権者には、理解いただけるように説明に努めると答えた。

以上